

キミの味方になりたいんだ

ど真ん中に愛がある！SHIGAから日本の教育を面白くする会

小川めぐみさん
山本万理子さん

「ど真ん中に愛がある！SHIGAから日本の教育を面白くする会」。少し長くて変わった名前ですが、守山をはじめ県内各地で「オモロイ授業発表会」を開くための活動をしている団体です。
昨年12月、滋賀県で初めてとなる第1回発表会（エルセンター）を実現した、同会のメンバーたちに話を伺いました。

村山朋子さん

わが子の言葉をきっかけに
リアルな学校に関心を持つ

「ど真ん中に愛がある！SHIGAから日本の教育を面白くする会」は、小中学生の子どもを持つ保護者を中心に、さまざまな立場の24人が携わっています。代表の山本 亜沙子さん、わが子から「何で毎日学校に行くの」と問われたことがきっかけで、学校生活や授業内容への関心が高まったそうです。

楽しい学びを実践する
夢みる先生は守山にもいる

市民提案型まちづくり支援事業の採択を受け、昨年12月にエルセンターで「第1回オモロイ授業発表会」を実現しました。

先生や子どものリアルを知り
みんなの距離が近くなる

「子どもは社会の宝」。家庭、学校、地域、みんなで子育てをするのが理想だと、頭では分かっているが現実があり、それぞれの考え方や努力を知る機会はありませんでした。偶然、他

必ず良い影響を与えると確信できたといえます。

第1回発表会に手応え
理想の教育と社会に一步

エルセンターの会場には、予想以上の来場者が集まり、メディアにもたくさん取り上げられました。登壇希望の先生も名乗り出てくれて、大きな手応えを感じたそうです。
変化の多い時代、頑張る先生

も、成長を見守る保護者も根っこにあるのは子どもへの「愛」。会の名前にはメンバーたちの理想と夢が詰まっています。
すでに、6月ごろに第2回発表会を計画、ほかにも「オモロイPTA発表会」や映画上映会を企画しているそうです。山本さんたちは「今は、発表会を継続していきたいと思っていますが、理想は私たちの会が珍しいと思われたい教育現場になることです」と話していました。



西利範さん

山本 亜沙子さん

第1回 オモロイ授業発表会 in守山

昨年12月にエルセンターで開催された発表会の様子です

オモロイ授業発表会とは、教育関係者（夢みる先生）が授業や学級運営の工夫や実践例を発表し、参加者で対話をする催しです。

教育をより良くしていきたいという思いのもと、地域住民や保護者、教員が一緒になって主催しています。

子どもも楽しめるイベントも用意され、先生、行政、地域、保護者、子どもたちも参加して、立場を超えた全員参加でコミュニケーションを楽しみました。

